



表紙作品 『ひとり』 甲斐 千晴 (2012年専攻科造形専攻修了)

丁寧な観察でしっかりとした人体のデッサン力を感じさせます。
背中合わせの二つの立ち姿で空間構成し、若い女性の微妙な心情を表現した彫刻作品です。

Contents

- 1 新入生にすすめるこの一冊
- 2 視聴覚室へ行こう！
- 3 学生選書ツアー
- 4 こんな本が新しく入りました
- 5 MyOPAC で図書館をもっと活用しよう！

新入生にすすめるこの一冊



美術科
松坂 洋三
先生

『ネンドノカンド：脱力デザイン論』

佐藤オオキ 著 2012年（小学館）

若い頃（といってもオジサンになってからですが）長い通勤時間を利用して読んだ文庫本の中でのめり込んだのがレ・ミゼラブル、退屈かなと思いつつ最後に感動、そして考えさせられたのが「狭き門」でした。本日皆さんにおすすめの一冊は全くジャンルが異なりますが、佐藤オオキ著「ネンドノカンド」です。佐藤さんはデザインオフィスnendoの代表です。新刊の「ウラからのぞけばオモテが見える」より創造の過程など本人にしか書けない表現で書かれていますのでこちらの方が面白いと思います。お勧めのポイントは今、世界のクライアントが求めるユーモア価値溢れる思考方法や発想法を分かりやすく知ることができ、デザインの仕事が楽しくてしょうがないというのが伝わってくる点です。同時にプロとしての責任感、心構えなどのようなものも描かれています。さらに、チームでのモノづくりの感覚を学生時代に打ち込んできたボート部の体験になぞらえ「この飛ぶ感覚の追及は今のデザインの仕事にも繋がっています。プロジェクトに関わるすべてのポジションの人の息が合うことで、ひとりでは到底実現できないような面白いデザインが生まれることがあるんです。」など、旬のクリエイターならではの表現は新鮮です。

（まつざか ようぞう／プロダクトデザイン）



音楽科
遠藤 信一
先生

『幻 談』

幸田露伴 著 露伴全集第六巻 1978年（岩波書店）

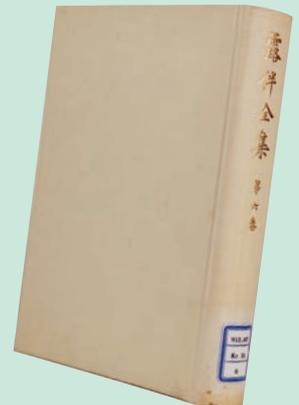
教養があり人柄も良く仕事もできるが、出世には全く興味がない武士と、そのお抱え船頭が、沖釣りに出た帰りに出くわした見事な出来栄の竹竿に纏わる怪談話。

作品の見事さは、数多くある解説が解き明かしているのですが、私が書くまでもないのですが…、私が特に興味をそそられたのは、時々本題から脱線してしまう釣り談義。魚名に纏わる話、遊漁と職漁の船頭の違い、遊漁における上品な魚と下品な魚、遊び道具の愛で方…博識家であり、遊び上手な文化人だなあと感心しました。

ふと疲れたなあと考えた時に、読んでみてはいかがですか？「釣り」を、皆さんのそれぞれの専門に置き換えてみると、パワーとスピードを要求される現代の競争社会で、忘れがちな「生きていくために必要な心の余裕」を考えるヒントになると思います。

もし時間があれば、露伴全集第十四巻の『鼠頭魚釣り』もどうぞ。面白いですぞ！

（えんどう しんいち／エクリテュール）





国際総合学科
宮野 幸岳
先生

『深夜特急』（1巻～6巻）

沢木耕太郎 著 1994年（新潮文庫）

みなさんは、旅に出かける時に本を持っていきますか？

私は、旅に出かけた時にこそ、紀行文や旅行記など「旅」にまつわる本を読まれることをお勧めします。それは、頭が「旅」というチャンネルに切り替わっているからこそ、感受性も高まり、単なる二次元の文字集合（文章）から、新たな発見を導き出し、立体的に「何か」を浮かび上がらせてくれると思うからです。そこで、そのような「旅のお供」としてお勧めする一冊に『深夜特急』が挙げられます。

著者の沢木は、乗り合いバスで、インドのデリーからイギリスのロンドンまで行くという、とても酔狂な決意します（とはいえ、じつは、この旅の始まりは、デリーからではなく香港から始まるのですが）。そのような長い旅を続ける中で、彼は「旅にとって大事なのは、名所でも旧跡でもなく、その土地で出会う人なのだ」と感得します。また、「ほんやり目をやった風景の中に、不意に自分の内部の風景が見えてくる」という、自身の内面性を照らし出すような経験もします。旅には、「他人」との出会いだけでなく、いままで自分自身でも気付いていなかった「もう一人の自分」、つまり、「他者」としての「自分」との出会いに醍醐味があることを示しているかのようです。

旅に出かける前でもお勧めできる良著です。読書を通して心の旅を楽しんで下さい。

（みやの ゆきたけ／観光学）



情報コミュニケーション学科
吉岡 孝
先生

『黒田官兵衛の情報学（インテリジェンス）』

宮崎正弘 著 2013年（晋遊舎新書）

NHK大河ドラマといえば、おなじ世代との話題では外せないネタの一つだ。大分で中津と言えば唐揚げの話題も外せない。10代の女子の間ではジャニーズの話題も「なにそれ？」とは言わないだろう。岡田君だけで、V6もフルネームが無くても通用するかもしれない。但し今年、大分の中津の唐揚げで無く、中津の「如水（じょすい）」という地名

や岡山県にある福岡について知識を持ってNHK大河ドラマでも見ておこう。すると就活や地域活動の雑談では話題に困らないはずだ。もちろんこの本には就活のアドバイスが書いてあるわけでは無い。しかし、兵庫の姫路で生まれ、中津、福岡の基礎を築いた黒田官兵衛が、どのようにして情報を仕入れ、それをどう考えて活用したのか、この本を読んで一度考えてみてはいかがだろう。今の時代、情報はどこにでもあるし、簡単に手に入ると思うかもしれないが、自分がアンテナを張ることをしなければ実は有用な情報は入らないことに気がついているだろうか。そのアンテナの張り方、考え方から、今の時代のインターネットを活用する情報学につなげよう。

（よしおか たかし／情報工学）



『おうちで作りたくなるひとり暮らしのレシピ』

はるひ 著 (ブティック社)

人気の料理ブログを1冊の本にしたレシピ本です。中を見ると超！簡単な作り方と調味料にびっくり！ひとり暮らしの人にぜひ見てほしい本です。見るだけで料理がしたくなってきますよ、きっと。他にもひとり暮らしの人向けの本がまだまだあります。ぜひ図書館に見に来て下さい。



『みんなの朝食日記』

SE 編集部 編 (翔泳社)

ひと目見て気に入ってしまった本です。ぱっと見はレシピ本かな?と思いますが、中は…なんと21人も人の朝ごはんブログからとった朝ごはんの写真がいっぱいのっています。カフェ風朝ごはん、和食な朝ごはん、ぜいたく朝ごはん…などなど、見ているだけで幸せになります。朝ごはんはしっかり食べなければ!と思わせてくれる1冊です。



『手作り革靴の本』

(誠文堂新光社)

洋服は毎日洗濯するのに、靴のメンテナンスはめったにしない。毎日履いているのに足元の存在はどこか他人事。そんな身近でありながら忘れがちな靴が生まれる過程や靴職人達が丹精込めて作り上げた数々が紹介されています。この一冊にあなたが欲しくなる、毎日メンテナンスしたくなる一足が見つかるはず。



『盗まれっ子』

キース・ドノヒュー 著 (武田ランダムハウスジャパン)

取り替え子伝説(チェンジリング)をもとにした作品。面白いことに、取り替えられた子と取り替わった妖精、双方から語られるその後の人生が繊細に描かれる。ドラゴンも魔法の剣も出てこないのに、この世界観に引き込まれること間違いなしの一冊。



『世界遺産の街を歩こう』

(学研パブリッシング)

わたしは世界遺産検定を受けて、世界遺産の素晴らしさを知り、他の人にも知って欲しいと、この本を選びました。とても綺麗な写真が載っているの、パラパラと眺めるだけでも、楽しい気持ちにさせてくれます。卒業旅行に、自然と人類の歴史によって生み出され過去から引き継がれた世界遺産を巡ってみようと考えています。



『ピタゴラ装置 DVDブック①』(小学館)

転がっていく玉がどこに行くのか。見る者をぐっと惹き付け、離さない。最後にピタゴラスイッチと気持ちのいいフィニッシュ。そのピタゴラスイッチの装置の秘密、苦勞が書かれています。身の回りの物で出来ているピタゴラ装置のあの映像は、テイク70くらいかかって撮られるものだそうです。相当な時間と知恵が使われているピタゴラ装置の「考えた跡」を知れて、ますますピタゴラスイッチが好きになりました。



『くまモン、どこ行くの?』

浅田政志 写真 (飛鳥新社)

仕事に疲れたくまモンが熊本の名所を一人旅! 熊本城・火の国まつり・阿蘇五岳・フルーツ狩りなどをまわり訪れた先々でいるんな体験や人とのふれあいをスナップ。くまモン好きにはたまらない一冊、熊本にも行きたくなくともまちがいなしです。ぜひ手に取ってみてください。



『完璧な母親』

まさきとしか 著 (幻冬舎)

北海道新聞文学賞を受賞した著者初のミステリー長編。「完璧な母親」という意味深なタイトルと表紙のイラストがとても気になる一冊。ページを読み進むにつれてだんだんと惹かれていきます。興味があったら読んでもらいたいおすすめの本です。



『銀河ヒッチハイク・ガイド』

ダグラス・アダマス 著 (河出書房新社)

本書は気軽に読めるSFコメディです。とは言っても、そこはイギリス文学。有名なSFネタを散りばめながらも、伏線回収はミステリー並み! 読書・SF初心者でも大いに笑え、SF好きなら思わずニヤリとしてしまうこと間違いなし! 自信をもってオススメする大傑作です。



『FabLife』

田中浩也 著 (オライリー・ジャパン)

ファブラボ入門書として選びました。ファブラボとは、3Dプリンターやレーザーカッターなどが設備された市民開放型モノ作り施設のことです。実は、ここ大分にもファブラボがあるんですよ! 本書をきっかけに、ぜひファブラボに参加し、ファブラライフを満喫してみてください!



『サカサマのパテマ』

涌井学 著 (小学館)

2013年11月に公開された映画のノベライズです。映画のキャッチコピーである「手を放したら彼女は空に落ちてゆく」という文章に惹かれて選びました。王道のボーイミーツガールが不思議な世界観と斬新な設定にマッチしてわくわくしながら読み進めることが出来ました。



『ケルベロスの肖像』

海堂尊 著 (宝島社)

田口公平・白鳥圭輔シリーズが好きなので選びました。念願のA iセンターが設立され、インパクト大の新キャラも登場し、主人公田口とともに振り回されるようなめまぐるしい展開で、全く予想がつかみませんでした。これからの二人の活躍にも期待しています。



学生選書ツアー



学生が図書館に置きたい本を選ぶ「学生選書ツアー」（毎年2回実施）を昨年11月、大分市の書店で行いました。参加者が選んだ本のうち特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計105冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



学生選書ツアーに参加して

情報コミュニケーション学科 1年 岡田 優希

図書館ユーザーの中には、選書本を借りる方も多いのではないのでしょうか。私もその一人です。学生視点で選ばただけあって、どの本も個性的。県内屈指の図書館にも所蔵されていない本が、選書本として所蔵されていることもしばしばあります。選書ツアーに参加したのも、この企画の隠れファンだったことがきっかけでした。

ですが、いざ選書ツアーに参加してみると、本選びに迷う、迷う。下見していたにも関わらず、お目当ての本が売り切れてしまっていたというハプニングも。悩みに悩みながら、普段読まないジャンルの棚ですら隅々まで見て、ピッタリと思える本がないか探し回りました。

カゴに入れた本も何度も出し入れし、両手で重たいカゴを持ってせっせと店内を何度も行ったり来たりすること約2時間。

「……買ってあげたいけれど、さようならっ！」

途中、そんなつらい別れがありながらも選ばれた今回の選書本。とても面白い作品がラインナップしています！面白くないわけがないっ！

図書館にあまり来ない方も、よく利用する皆様も、たまにはカウンター近くに選書コーナーがありますので、手に取っていただき本の面白さを感じて頂けたら嬉しく思います。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 光永百合絵

『ネーミングをいかしたヒットデザイン』

(パイ・インターナショナル)

目立たせるためであったりブランド力をあげるものだったり、ネーミングには様々な種類と狙いがあります。この本ではネーミングの力やネーミングとデザインの強い結びつきを感じることができます。様々な分野の参考やヒントになると思うので是非開いてみてください。



『おりがみペットパーク』

フチモトムネジ 著 (ソシム)

小さい時に作ったものよりリアルな折り紙の動物を作ってみませんか？十数種類の動物の折り方とその過程が写真付きで掲載されているのでわかりやすいです。紙1枚で作ることができるので頭の切り替えや休憩の時にチャレンジしてみてください。



美術科 1年 上野 真実

『世界の美しいきのこ』

(パイ・インターナショナル)

きのこの写真集です。図鑑ではありません。という訳で堅苦しさや長い説明は一切なく、毒々しく可愛いきのこをとことん堪能できる一冊となっております。ちなみに私個人のお気に入りにはカンゾウタケ。きのこの名称の由来を、形と関連づけて想像するのも面白い！ページをめくる度、わくわくすること請け合いです。



『死者のための音楽』

山白朝子 著 (メディアファクトリー)

物質を黄金に変える液体を流す工場、死の瞬間に聴こえる音楽……。全7編からなる幻惑的な怪談集です。それぞれ独立した短編で、かつ坦々とした文体のためテンポ良く読み進めることができます。恐怖はもちろんのこと、どこか心温まる話も含まれていますので、怪談が苦手な方もぜひ一読を！



こんな本が新しく入りました



2013年10月～2014年3月までの新着資料の中から、学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介いたします。

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	501.83/ Mi74	トコトンやさしい ユニバーサルデザインの本	宮入賢一郎 横尾良笑 著	音楽科	761.8/ Ko41	バッハ様式によるコラール技法： 課題集と60の範例付き	小鍛冶邦隆、林達也 山口博史 著
	702.17/ Su21	花木の象：国宝都久夫須麻神社	須賀みほ 編著 小塚直斗 画像		761.9/H38	バロックから初期古典派までの 音楽の奏法	橋本英二 著
	723.34/ E68	Max Ernst： a retrospective	edited by Werner Spies and Sabine Rewald		762.1/O26	ピアニスト小倉末子と東京音楽学校： 海外が認めた日本人ピアニスト第一号	津上智実、橋本久美子 大角欣矢 著
	727/U64	ありえないデザイン： デザイナー梅原真	梅原真 著 沢部ひとみ 文・構成		767/E53	声楽家のための本番力	シャーリー・エモンズ アルマ・トマス 著
	748/L97	Loretta Lux	essay by Francine Prose		763/N14	楽器を科学する： 「楽器の研究よもやま話」：温故知新のころ	永井洋平 村上和男共 著
	801.6/U14	街場の文体論	内田樹 著		762/N82	アインシュタインとヴァイオリン： 音楽のなかの科学	西原稔 安生健 著
	360/Pu	グラフィックデザイナー 佐藤卓の仕事 "自分"を消して、ヒットを生み出す [映像資料]			C/7679	Spirited Harp : Irish Harp [録音資料]	生山早弥香
国際総合学科	221.05/ C52	近代朝鮮と日本	趙景達 著	情報コミュニケーション学科	007.6/ Ta95	大学生の情報基礎	立田ルミ 編著 大脚洋子、堀江郁美 著
	230.4/I33	儀礼と象徴の中世	池上俊一 著		146.82/ P93	愛着と愛着障害	ビビアン・ブライア ダーニャ・グレイサー 著
	338.2/F57	イエレンのFRB：世界同時緩和の次 を読む	藤井彰夫 著		335/Sa31	20代の起業論： 成功するアイデアとリーダーシップのつくり方	榎原健太郎 著
	069.023/ Ko65	愉悅の蒐集 ヴンダーカンマーの謎	小宮正安 著		548.25/ Ka14	3Dプリンタではじめるデジタルモノづくり： 3Dプリンタの自作にもチャレンジ	門田和雄 著
	778.01/St1	映画記号論入門	ロバート・スタム ほか 著		783.1/ Ka86	努力が結果につながらない人に気づいて ほしいこと	加藤三彦 著
	778(W)/Ko	コッホ先生と僕らの革命 [映像資料]	セバスチャン・ グロブラー 監督		775/Ko	国民の映画 = Kokumin no eiga [映像資料]	三谷幸喜 演出
	778(J)/Te	テルマエ・ロマエ [映像資料]	武内英樹 監督		775/Ch/12	海盜セブン： 地球ゴージャスプロデュース公演 vol.12 [映像資料]	岸谷五朗 演出
図書館	302/Se22	ニュースがわかる 世界各国ハンドブック	世界各国ハンドブック 編集委員会 編	図書館	751.9/ Sh96	超リアル食品サンプルのつくりかた	食品サンプル 研究会 著
	377.9/ Ta67	「見た目が9割」内定術	竹内一郎 著		913.6/ Mi71	ペテロの葬列	宮部みゆき 著
	596/A16	かんたんがおいしい！： スーパー主婦・足立さんのお助けレシピ	足立洋子 著		913.6/O95	穴（第150回芥川賞受賞）	小山田浩子 著
	726/Y56	やなせたかし大全： Takashi Yanase on stage	やなせたかし 著		778(J)/Ts	綱引いちゃった！ [映像資料]	水田伸生 監督

※ [映像資料] は貸出できません。視聴覚室またはグループ学習室で鑑賞できます。

図書館員注目の一冊！



『里山資本主義』

藻谷浩介・NHK 広島取材班 著 332.1/Mo82

金、金、金の経済から少し離れて、地域の資源を見直し、お互いが助け合うことで、しなやかで本当の意味での豊かさや安心を享受できる生き方が可能であり、また目指すべきだと教えてくれる。(みよし)



『夢のなかの夢』

タブッキ 著 973/Ta12

20人の芸術家たちの夢を想像して書かれた連作短編小説。夢ならではの不条理感やとりとめのなさに混在する夢の主に関連するキーワードが見事です。「この書物の中で夢見る人びと」の解説も面白い。私のお気に入りには「建築家にして飛行家、ダイダロスの夢」(こてがわ)



『ちいさなちいさな王様』

アクセル・ハッケ 著 943.7/H11

生まれた時が大人で年齢を重ねると子どもになるという世界から来た小さな王様と僕の不思議な同居生活。大人になるにつれ忘れていく想像力や希望。小さな王様はシンプルな言葉でそれを思い出させてくれます。挿絵も素敵なドイツのベストセラー小説です。(うしじま)



『晴れた日は図書館へ行こう』

緑川聖司 著 913.6/Mi14/1

タイトルに惹かれてこの本を選びました。図書館にまつわる小さな「謎」と一緒に、図書館の利用の仕方がさりげなく書かれていて、館内で働いている私もフムフムと頷くことが多かったです。児童書の文庫化ということですから読み終えて、為になった一冊です。(うりゅう)

視聴覚室へ 行こう!



～視聴覚室おすすめのディスク～

DVD

「井上直幸 ピアノ奏法①」
「井上直幸 ピアノ奏法②」

音楽科

磯崎 淳子 先生



今回は音楽科のみなさん、特にピアノコースのみなさんにお勧めしたいDVDです。

故井上直幸氏は私が音大生であったころに出会ったピアニストですが、その多彩な音色、表現の中の広さに圧倒され、私がそれまでに抱いていた「ピアノ」と云う楽器の概念や音楽の表現力の枠を大きく変えてくださった九州出身のピアニストです。こんなに色彩の変化や音の種類を持ったピアニストはなかなかいるものではなく、演奏会場であんなにいくつもの音色を聴けたのは彼とベネデッティ・ミケランジェリの演奏会だけです。余談ですが井上氏もミケランジェリも同じスイスのルガーノ（本当に美しい保養地）にアトリエをもっていたのは不思議な偶然です。このルガーノについてはDVDに付いている冊子にインタビュー記事として書かれています。

後にこのDVDの中の話にも登場する井上氏の師であるピヒト・アクセンフェルト女史に私も師事することができドイツでの貴重な有意義な留学生活をおくることとなります。

「ピアノ奏法②」では、ピアノ演奏におけるいろいろなテクニックについて詳しく語られそれらが相互にいかに関連し音を表現しうるかという説明が具体的に述べられています。

「ピアノは簡単に音が出せる楽器だからこそ本当に歌わせるのが難しい」という氏の言葉にそっていろいろな表現をつくるためのタッチの方法、ペダルの使い方、身体の使い方が丁寧に説明されています。

ピアノを弾くと云うことを演奏者のイメージから出発し多くのテクニックを使っていかに芸術に昇華させていくアプローチが実際の彼の演奏で解り易く語られています。

「ピアノ奏法①」ではバッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、ドビュッシーという作曲家をとりあげやはり氏の演奏も含めて其々の様式感を解説しています。いずれも人に押し付けることなく、どのように音楽を感じ表現していくかを探求していく井上氏の素直な意見が聞いて大変心うたれました。

どちらのDVDもヨーロッパを連想させる美しい八ヶ岳を臨む八ヶ岳高原音楽堂で収録されています。

演奏を芸術品に導いていくアプローチを、ピアノを学ぶ者だけでなく興味のある方は是非視聴してみてください。

(いそざき あつこ/ピアノ)



視聴覚室利用ガイド

- ☆ 視聴覚室（2階）ではオペラやクラシック、映画などを鑑賞することができます。
- ☆ 視聴機器を入れ替え、新しい映画のDVDも多数いれていますのでご利用ください。
- ☆ 友達と一緒に観たい場合は大型テレビのあるグループ学習室をご利用ください。
- ☆ DVDは貸出できませんが、CDは借りることができます。

利用時間 12:30～19:00（月曜～金曜）

MyOPACで図書館をもっと活用しよう！

MyOPACでは館内資料の検索のほかに、今、自分が借りている本の情報や過去に借りた本の履歴、図書館のリアルタイムな開館情報等がチェックできます。また、今年4月から貸出中の本の予約や資料の購入リクエストもできるようになりました！MyOPACは図書館ホームページから簡単にアクセスできます。ぜひ、活用してみてください！

Step1. MyOPACにログインしよう

1. 図書館ホームページ (<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>) にアクセス
メニューバーのMyOPAC「ログイン画面へ」をクリック



2. ログイン画面に移ったら、

ユーザー ID：学生証(図書館利用券)のバーコードの数字
パスワード：★初回ログイン時
学生証(図書館利用券)のバーコードの数字



を入力して、「ログイン」をクリック
★次回からは自分で設定したパスワードでログインしてください

Step2. MyOPACをつかってみよう

トップ画面には「図書館からのお知らせ(開館情報)」や「貸出情報」、ページをスクロールをすると「貸出履歴情報」もチェックできます！この他に「目録検索」「新着情報」「ベストリーダー」「購入希望」「休館情報表示」機能が利用できます。(本学教員は「ILL申込」「購入依頼」も利用可能。また学外の方は当機能はご利用できません。)

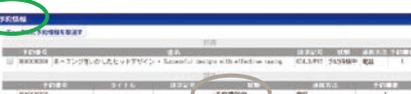


本の予約をするには…?

まずは、予約したい本を検索してみましょう！
所蔵情報のステータスが「貸出中」になっているのを確認して、「予約」ボタンを押してください。



連絡先等の必須項目を埋めたら予約は完了します。予約の状況は MyOPAC の「予約情報」から確認できます！



(お願い) 予約本が返却されたら図書館からご連絡いたします。連絡先の記入は間違いのないように入力してください。

★館内でMyOPACを利用した場合、利用が終わったら必ず「ログアウト」ボタンを押しましょう！

本や楽譜などの資料の
購入リクエストはMyOPACの
購入希望 から受付しています！

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。
まずはリクエストを送ってください！



県立図書館の本の
取り寄せもしています！

申込みは図書館カウンターで
直接おこしく下さい
自分に合った図書館の使い方を
探してみてください

ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.22

発行日 2014年4月1日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子